



2020年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社 ランシステム
 コード番号 3326 URL <http://www.runsystem.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 面高 英雄

TEL 03-6907-8111

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	2,122	1.3	133	46.6	131	47.5	71	705.6
2019年6月期第1四半期	2,149	5.1	90	96.0	89	102.2	8	156.9

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 71百万円 (705.6%) 2019年6月期第1四半期 8百万円 (202.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	36.83	
2019年6月期第1四半期	4.57	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第1四半期	5,109	1,879	36.8	968.71
2019年6月期	5,096	1,827	35.9	941.88

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 1,879百万円 2019年6月期 1,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		10.00	10.00
2020年6月期					
2020年6月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	2.6	240	23.1	220	7.4	75	131.4	38.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期1Q	2,070,900 株	2019年6月期	2,070,900 株
期末自己株式数	2020年6月期1Q	130,445 株	2019年6月期	130,445 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期1Q	1,940,455 株	2019年6月期1Q	1,940,554 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、2019年10月に消費税率引き上げを控え、幅広い業種で駆け込み需要が発生し、緩やかに改善した一方で、国際情勢の先行き不透明感や深刻な人手不足に加え、台風15号の被害により一部地域で企業活動が停滞するなどの問題が重なり、足踏み状態となっております。サービス業・アミューズメント業界においても、娯楽の多様化、実店舗における雇用確保の問題等、依然として厳しい競争環境が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「基本の徹底」「安定した財務基盤の構築」「新規事業の拡張」に注力し、既存の主力事業である直営店舗事業の健全な運営とその強みを活かした関連事業における収益の拡大、新規業態店舗の開発等に努めて参りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,122百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益133百万円(同46.6%増)、経常利益131百万円(同47.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益71百万円(同705.6%増)となりました。

セグメントごとの状況は、次のとおりであります。

<直営店舗事業>

当事業につきましては、当社及び当社子会社の株式会社ランセカンドによる複合カフェ「スペースクリエイト自遊空間」チェーン直営店舗の運営をメインとし、お客様に快適な空間を提供するためにVR視聴やカラオケ・ダーツ等の新しい機器の導入、ビリヤード・ダーツ大会、オンラインゲームイベントの企画運営を行い、既存会員の来店数の向上と新規顧客層の拡大に努めております。また、店内設備においては、お客様自身で入場や精算が可能な「セルフ化店舗」への改装や、お客様のニーズの高い個室ブースへの入れ替え等を行っております。加えて、より安定した収益を生むため、不採算店舗の統廃合を行っております。結果としまして、店舗の統廃合等で売上は前年に比べて若干減少しましたが、株式会社ランセカンドの業績が好調に推移していることや、セルフ化による運営コストの削減等によって営業利益は増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末時点では、グループ店舗数171店舗(直営店舗74、FC加盟店舗97)となり、当セグメント全体の売上高は1,556百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益は164百万円(同35.5%増)となりました。

<外販事業>

当事業につきましては、各種システム等の販売及び保守、管理業務を行っているほか、自遊空間のフランチャイズ店舗のサポート業務を行っております。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は398百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益は77百万円(同34.6%増)となりました。

<不動産事業>

当事業につきましては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、計画通りの売上推移となりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は90百万円(前年同期比11.2%減)、セグメント利益は26百万円(同1.0%減)となりました。

上記報告セグメントの他に、子会社である株式会社ランウェルネスにおける児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を運営しております。児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業では、放課後等デイサービス施設「ハッピーキッズスペースみんと」を10施設運営しております。「みんと」では、児童・生徒の発達支援に関するサービスを行っており、独自の療育プログラムに基づき、お子さま一人ひとりが自立し健やかに育むことができる環境を整えております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,442百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が31百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は3,666百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少しました。これは主に、敷金が8百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は5,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加しました。これは主に、買掛金が26百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は1,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円減少しました。これは主に、長期借入金が26百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は3,229百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,879百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が52百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、36.8%（前連結会計年度末は35.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、今後の出店計画や店舗売上高に与える影響や開発中の新製品及びサービスの運用時期の変動などの不確定要因があるため、現時点においては前回予想通りとし、修正は行っておりません。なお、数値が確定した結果、適時開示基準に該当した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	685,260	716,477
売掛金	327,474	287,144
商品及び製品	131,756	138,315
原材料及び貯蔵品	53,057	52,307
その他	231,394	251,023
貸倒引当金	△2,693	△2,336
流動資産合計	1,426,249	1,442,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,359,941	1,357,490
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	198,938	214,896
土地	622,556	622,556
リース資産(純額)	3,510	3,350
有形固定資産合計	2,184,946	2,198,293
無形固定資産		
のれん	44,075	40,276
その他	59,993	56,402
無形固定資産合計	104,069	96,679
投資その他の資産		
敷金	1,038,204	1,029,774
その他	382,504	380,853
貸倒引当金	△38,974	△38,968
投資その他の資産合計	1,381,733	1,371,659
固定資産合計	3,670,749	3,666,631
資産合計	5,096,999	5,109,563
負債の部		
流動負債		
買掛金	188,297	214,825
短期借入金	150,000	150,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	482,692	483,168
未払法人税等	82,724	55,943
賞与引当金	—	20,400
資産除去債務	13,193	14,739
その他	411,744	392,015
流動負債合計	1,348,652	1,351,090
固定負債		
長期借入金	1,451,438	1,424,876
資産除去債務	207,956	207,063
その他	261,275	246,790
固定負債合計	1,920,670	1,878,729
負債合計	3,269,322	3,229,820

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,314	803,314
資本剰余金	841,559	841,559
利益剰余金	275,408	327,474
自己株式	△92,605	△92,605
株主資本合計	1,827,676	1,879,743
純資産合計	1,827,676	1,879,743
負債純資産合計	5,096,999	5,109,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,149,940	2,122,312
売上原価	1,802,736	1,717,724
売上総利益	347,203	404,587
販売費及び一般管理費	256,351	271,426
営業利益	90,851	133,161
営業外収益		
受取利息及び配当金	340	285
販売手数料収入	1,621	1,518
その他	1,415	2,924
営業外収益合計	3,377	4,727
営業外費用		
支払利息	3,457	3,084
控除対象外消費税等	1,322	2,574
その他	38	306
営業外費用合計	4,818	5,965
経常利益	89,410	131,923
特別利益		
固定資産売却益	—	2,221
特別利益合計	—	2,221
特別損失		
固定資産売却損	—	507
固定資産除却損	16,704	6
店舗閉鎖損失	19,577	—
減損損失	29,232	17,360
災害による損失	1,321	—
特別損失合計	66,836	17,874
税金等調整前四半期純利益	22,573	116,270
法人税等	13,702	44,798
四半期純利益	8,871	71,471
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,871	71,471

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	8,871	71,471
四半期包括利益	8,871	71,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,871	71,471
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。